

決済動向

— 平成8年7月 —

(平成8年9月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.0万件(前年比 Δ 4.1%)、金額ベースでは309.5兆円(同 Δ 7.7%)となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は291.1兆円(前年比 Δ 7.7%)、民間の集中決済制度に係る資金決済は13.2兆円(同 Δ 5.7%)となった。

7月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで6.5万件(前年比+14.5%)、金額ベースで172.1兆円(同+10.0%)となった。また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで4.1万件(前年比 Δ 2.3%)、金額ベースで233.3兆円(同+9.7%)となった。

7月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで52.0万件(前年比 Δ 2.7%)、金額ベースで5.8兆円(同+36.1%)となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高9.1兆円(前年比+14.6%)、支払高7.5兆円(同+2.6%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、7月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは47.8万枚(前年比+0.4%)、金額ベースでは4.9兆円(同 Δ 5.9%)となった。

7月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは387.2万件(前年比+3.2%)、金額ベースでは8.0兆円(同 Δ 1.0%)となった。

7月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは3.9万件(前年比+10.4%)、金額ベースでは34.3兆円(同+15.7%)となった。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は10.4万契約(前年比 Δ 14.6%)、月末の建玉数量は162.2万契約(同+18.5%)となった。

7月のS W I F T総送信件数(本邦分、月中合計)は247.3万件(前年比+19.9%)となった。

(信用機構局)